

令和8年度 経済学部「演習Ⅱ」（編入学者）の選考方法一覧

- 【応募期間】 令和8年1月7日（水）～1月15日（木）正午 ※課題を郵送で提出する際は14日（水）必着
- 【選考期間】 令和8年1月16日（金）～1月24日（土）
- 【発 表】 令和8年1月29日（木）メールでの結果通知

提出方法	教員名	面接（オンライン）の有無	募集人数	課題内容	編入生へのメッセージ（望まれる人物像や選考基準）
メール 【アドレス】 masaono@kokugakuin.ac.jp	小野 正人	○（あり）	若干名	以下の課題をワードで作成し、応募時にメールに添付して提出してください。 (1) 自己紹介(200字以内) (2) ゼミを希望する理由(400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※応募時に提出 課題内容:①簿記検定(2級以上)の合格証書コピーを提出(検定合格者のみ受け入れます)。②1年次のGPAを証明できる書類のコピーを提出。	【注意事項】小野ゼミでは、演習Ⅰで企業研究の基礎を学んだ履修者によって演習Ⅱが運営されます。したがって今回の募集では簿記検定取得(2級以上)を応募条件とし、『小野ゼミを強く望み、かつゼミ活動に対応できる者』を選出します。合格者が少数であることを覚悟して応募されるよう望みます。
メール 【アドレス】 k.fujiyama@kokugakuin.ac.jp	藤山 圭	○（あり）	若干名	①佐藤(2024)『リサーチ・クエスチョンとは何か?』を読み、以下のURLの課題レポートをWordで作成し提出してください。 (https://www.dropbox.com/scl/fi/s9a9hcfuuf9iil70xywcjn/.docx?rlkey=1cv70dsaqwj5k4ayq7s2pv4sl&st=1ewmdjt7&dl=0) ②自分の経歴・志望動機・趣味や特技など人となりの分かること、それぞれ400字程度でまとめたWordファイルを提出してください。 ③山田(2017)『集団と組織の社会学 集合的アイデンティティのダイナミクス』を読み、輪読レジュメをA4で各章1～2枚でまとめてください。提出義務はありませんが、本書で学んだ概念は、説明なくゼミ内で使います。	望まれる人物像:勤勉性が高い人、知的好奇心の高い人、謙虚な人 選考基準:課題内容と面接による。現2年生に合流することになるので、最低限2年生のこなしてきた読書水準に追いつくための課題を課す。 メッセージ:教員の性格が陰湿かつ皮肉屋で、内容的にも大変なゼミだと言われていますが、それでもやってみようという人は歓迎します。
メール 【アドレス】 jsakurai@kokugakuin.ac.jp	櫻井 潤	○（あり）	若干名	以下の3点を1つのワードファイルにまとめ、応募期間内にメールに添付して送ってください。様式は「40字×30行」厳守です。 (1)自己紹介(200字以内) (2)志望理由(400字以内) (3)以下の指定図書を通読した上で、①筆者が主張する「里山資本主義」は「マネー資本主義」とどう違うのか、②「里山資本主義」は今後の日本における地域問題の有効な解決策なのか、それぞれ論じてください(①・②それぞれ1200字以上2400字以内) 指定図書:藻谷浩介・NHK広島取材班『里山資本主義:日本経済は「安心の原理」で動く』角川書店、2013年	
メール 【アドレス】 s-kimura@kokugakuin.ac.jp	木村秀史	○（あり）	若干名	レポート課題 中島真志・島村高嘉『金融読本〔第32版〕』東洋経済新報社、2023年4月を読んで各章の要約を作成してください。現在の演習Ⅰでは金融の基礎的な基本について学習しております。来年度のスタート時に同じスタートラインに立てるように金融読本の読破を課題とします。第5部を除く第12章までの各章の要約を作成してください。分量は特に定めませんが、分量も含めて適切に要約できているかを選考基準とします。ちなみに昨年度、当ゼミに合格した編入生はA4で約12枚程度のレポートを作成してきました。	当ゼミでは、金融論や国際金融論に興味関心があることが最も重要になります。その上で、毎日新聞を読む覚悟のある学生を募集します。経済は生き物です。したがって、新聞で常に最新の経済状況を金融に関することはもちろん、それ以外の分野も幅広く頭に入れておく必要があります。選考はレポートと面接の総合評価で行います。なお、募集人数ですがすでにゼミの人数が定員を上回っている関係で最大で1名とします。

メール 【アドレス】 khosoya@kokugakuin.ac.jp	細谷 圭	×（なし）	若干名	<p>あなたが関心を寄せているマクロ経済学分野のトピックを取り上げ、その理由を大学生に相応しい文章で説明してください。加えて、ゼミ活動への抱負、経済学の学習履歴、英語読解能力（自己評価でOK）についても記載してください。WordA4版一枚以内にまとめ、応募期間内にメールに添付して細谷まで送付してください。</p>	<p>3年次の「演習Ⅱ」では、マクロ経済学の研究を進める上での基礎知識の獲得を目指しています。定評ある英語のテキストブックを読み、WordとPowerPointを併用して内容をプレゼンしてもらいます。経済学の理解に加え、プレゼン技術を高めることも目標としています。他のゼミメンバーと協力しながら、自ら積極的に学ぶ意志のある人を歓迎します。</p>
メール 【アドレス】 suz@kokugakuin.ac.jp	鈴木智之	○（あり）	若干名	<p>以下の2つの問いに答えてください。以下2問への回答の文字数合計で、A4サイズで1ページ、横書き、1200字程度。PDFで提出。</p> <p>指定書籍： 鈴木智之（著）『就職選抜論―人材を選ぶ・採る科学の最前線』2022年、中央経済社。</p> <p>問い(1) 指定書籍を読み、人的資源管理論へのデータ分析手法の適用について、書籍に記述されている内容とは別のデータ分析手法を統計学的に考えて提案し、その場合の想定される結果と、経営学、そして人的資源管理論への示唆を述べてください。</p> <p>問い(2) 指定書籍に記述された人的資源管理と類似すると思う施策を、実際に導入している企業1社を調べて、その概要と特徴を述べてください。なお、教科書に記載済の企業は対象外とします。</p>	<p>経営学の基礎とデータ分析の基礎が理解できることを前提としています。なお、データ分析は、回帰分析、t検定、分散分析といった基礎レベルまで理解できれば問題ありません。</p> <p>また、本ゼミでは3年次の間に卒業論文の下書きを完成します。そのため、上記が備わっており、また3年次に卒業論文の多くを完成させるという意欲の高い学生が応募してほしいと考えています。書式及び内容の両面で、高いレベルの卒業論文が求められるゼミになりますので、その両面を意識した課題を作成してください。</p> <p>なお、現在の所属大学・学部学科などの名称と、GPA（科目成績平均値）を課題の最初のページ最上部に記載してください。なお、GPAは後日、成績証明書などで確認することがあります。</p>
メール 【アドレス】 rishii@kokugakuin.ac.jp	杉山里枝	その他	若干名	<p>戦前期日本において活躍した企業家について1名をとりあげて800字程度でその人物について論述してください。Wordで文書を作成し、メール添付で提出してください。</p>	<p>積極的に発言し、協調性をもってゼミ活動にのぞむことができる学生の応募を希望します。（※オンラインでの面接を実施する場合には、個別にメール連絡します）</p>
メール 【アドレス】 y.miyashita@kokugakuin.ac.jp	宮下雄治	○（あり）	若干名	<p>(1) 自己紹介(500字程度) (2) マーケティングのゼミを希望する理由(500字程度) (3) あなたがよく利用する店舗を2つ取り上げ、その魅力や特徴について説明してください(各800字程度) (4) ビジネスや企業に関する本を一冊読み、筆者の主張を整理するとともに自分の考えを述べてください(1000字程度)</p>	<p>マーケティング検定や統計検定に挑み、検定の勉強と毎週の課題で3年次はハードです。また、経済の専門紙(新聞)を購読してもらい、毎回、これに関する発表と議論をします。ゼミ活動の毎回の積み重ねが力になりますので、ゼミには休まずに目標と向上心を持ち続けることができる方の応募をお待ちしています。今年の演習はすでに人数が非常に多いため、今回の募集はきわめて若干名となります。</p>
メール 【アドレス】 y-hayashi@kokugakuin.ac.jp	林 行成	○（あり）	若干名	<p>(1) 自己紹介(200字以内) (2) ゼミを志望する理由(400字以内) (3) 最近の医療政策のうち興味のあるものを1つ挙げ、その政策の内容、実施される背景や問題、政策を実施する上で起きるであろう問題など、データなどのエビデンスを踏まえながら論述しなさい。(1000文字程度) (4) 最新の成績表とGPAが明示されているものを提出してください。</p>	<p>演習では、理論的、実証的な分析を行いますので、経済学の基礎、統計学の基礎を学んでいることが望ましいです。</p> <p>【望まれる人物像】 ・向上心を持って誠実に取り組める人 ・凡事徹底ができる人</p>
メール 【アドレス】 hoda@kokugakuin.ac.jp	尾田 基	×（なし）	10名程度	<p>自己紹介(400字程度)と、自分自身の課題や目標について(学業と直接関係しない内容でも可)について(800字程度)を記入し、1/24の22時までにメールで送付ください。</p> <p>これらの内容は、入ゼミ後に学生相互に開示しますので、私宛だけでなく、そのつもりで書いて下さい。</p>	<p>経営学科生限定。</p> <p>定員に余裕があるので、選考を実施せず、よほどの書類不備がない限り応募者全員を受け入れる予定です。</p> <p>事前のハードルは設けませんが、ゼミ自体はハードワークを要求するものですので、募集要項をよく読んでから判断してください。</p>

<p>メール 【アドレス】 hhaga@kokugakuin.ac.jp</p>	芳賀英明	○（あり）	若干名	<p>(1)自己紹介(200字以内) (2)ゼミを希望する理由(400字以内) (3)ゼミ独自のエントリーシート((1)および(2)を含んだマーケティングに関する質問事項を中心としたWord形式で2ページのもの)があるので、事前に左記のメールアドレスにご連絡ください。作成した上で1/14(水)の23:59までに記入済のエントリーシートを左記のメールアドレスに改めて提出してください。 (4)成績表のコピーをPDF化ないし写真のデータのいずれかの方法でエントリーシートと共に提出してください。 (5)自己アピールとして利用できる資料や動画などの提出を歓迎します(任意)。 →過去(大学生の時だけでなく、高校生の時まで遊んでも良い)に関わったプロジェクトの成果物、学術的な作品、またはその他の作品など。 →提出形式については特に制限はありませんが、提出をした際はエントリーシートの最後の部分に「いつ、どこで、誰が、何を、どのように」といったことについて記載をする枠があるのでそちらを忘れずに記述してください。 (6)これらを提出した上でオンラインの面接を行います。ゼミの上級生が同席することを予めご了承ください。面接日および時間帯の調整等についてはメールにて改めてお伝えします。</p>	<p>ゼミの基盤を作り、今後受け入れることになると考えられる多くの後輩たちの「憧れの対象」になるような知的好奇心と行動力のある方の参加を切望しています。卒業まで継続して履修できる方のみ応募してください。 ①知的好奇心と行動力を持ち、自ら学ぼうとする姿勢がある人 ■マーケティングや消費者行動に関して、実践を通して深く理解しようとする姿勢を保てること ②ゼミ活動に積極的に関与しようとする意欲がある人 ■研究活動だけでなく、ゼミ宿舎・懇親会などにも主体的に参加し、ゼミの運営や雰囲気づくりに貢献すること ③協調性を持ち、ゼミという“場”の一員として他者と良好な関係を築ける人 ■自由度の高いゼミだからこそ、報道相や共同作業を大切にし、教員や他のゼミ生と信頼関係を育む姿勢を保てること ・詳細に関しては、「國學院大學 芳賀ゼミ」とネットで検索し、ゼミのHP、ゼミのinstagramを参考にしてください。また、ゼミに合格した際には、3年生の後期時に3年生の配当科目である「演習ⅡB」だけでなく、2年生の配当科目である「演習Ⅰ」も同時に授業に参加をしていただきます。これは、「演習Ⅰ」においてマーケティングないし消費者行動の実務および学術でよく利用するマーケティングリサーチ(特に、定量調査)の実習を行います。具体的には、分散分析(特に、二要因分散分析)、回帰分析、因子分析、クラスター分析などに関する知識についてグループワークを通して身に付けていただきたいという考えに基づきます。1コマ分余計にゼミに参加していただくため、ご負担になると思いますが、今後のゼミでのグループ研究や卒業論文の執筆に必要な事柄になるので、こうした考えにご賛同いただける方のみゼミにご応募ください。</p> <div>   </div>
<p>メール 【アドレス】 hoshino-h@kokugakuin.ac.jp</p>	星野 広和	○（あり）	若干名	<p>(1)履歴書(書式自由。ただし、氏名、顔写真、住所、連絡先、学歴・職歴、志望動機、自己PR、趣味・特技は必須。) (2)成績表の写し(pdfまたはJPEG)(2年前期(サマーセッション含む)終了時点のもの。) (3)次の論文のいずれかを読んで、「なぜゼミで学びたいのか」について3,000字程度(A4用紙40字×35行で作成)のレポートを作成しなさい。なお、論文はweb上からダウンロードできる。 (a)楠木建(1995)『大学での知的トレーニング―アタマがナマっている人へのメッセージ―』『一橋論叢』113(4), pp.399-419. (b)青島矢一(1997)『社会科学を学ぶことがどうして将来役に立つのか』について考えたこと』『一橋論叢』117(4), pp.537-556.</p>	<p>(1)望まれる人材像:他のゼミ生との半年間の学習の遅れを挽回し、ゼミ生と協力し課題を成し遂げ、4年後期の卒業論文作成まで必ず継続する強い意志があること。 (2)選考基準:課題と面接を総合して評価する。 (3)その他:質問や不明な点等があれば星野まで連絡すること。 【連絡先】hoshino-h@kokugakuin.ac.jp (注:迷惑メールに振り分けられないよう、送信するメールアドレスに注意すること。)</p>
<p>メール 【アドレス】 makotosaito@kokugakuin.ac.jp</p>	齊藤 誠	○（あり）	5名程度	<p>以下の2つのレポートを、それぞれ500字から1200字程度で提出してください。 ①ゼミの志望理由を書いてください。 ②この4年間に読んだ書物(長編漫画を含む)のリストを作成し、そこから1冊を選び、感想文を書いてください。</p>	<p>現在の3年生ゼミには、編入生が3人所属していて、とても頑張っています。先輩を見習って、ゼミに挑戦してください。</p>

郵送 【1/7（水）～1/14（水）必着】	山本健太	×（なし）	若干名	①実家のある地域の名物や有名な祭りなどを1つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ(2000字程度)②自己紹介(1000字程度)	ゼミ活動に対して自発的、積極的に参加するもの 論理的思考ができ、それを自分の言葉で表現できるもの 「てにをは」や主語述語の一致は当然のこと、引用や図表を適切な作法で用いるなど、基本的な作文のルールに則ってレポートを作成できるもの
メール 【アドレス】 negishi@kokugakuin.ac.jp	根岸毅宏	×（なし）	若干名	以下の(1)と(2)をワード・ファイルで作り、1月15日(木)正午までに、メールの添付ファイルで送ってください。 (1) 自己紹介を、2000字程度でしてください。 (2) 坂本貴志『本当の日本経済』講談社現代新書を読んで、(a)本の内容で興味関心があることを1000字程度でまとめるとともに、(b)その興味関心に関連することを調べ1000字程度でまとめ、提出してください。	勉強に時間を使うゼミなので、アルバイトよりも勉強に時間を使う覚悟のある学生、卒業までゼミを続ける覚悟のある学生を募集します。
メール 【アドレス】 tezuka.sadaharu@kokugakuin.ac.jp	手塚 貞治	その他	若干名	(1) 自己紹介・志望理由(400字程度) (2) 自分が想定している研究テーマに関連づけながら、経営戦略論について論述してください(1,200字程度)。 (3)2年次までの成績表・GPA(画像・PDFファイル等でけっこうです)	3年次では企業分析やビジネスプラン作成等の実習に入りますので、『経営戦略入門』(日本経済新聞出版社)レベルの知識を有していることが前提となります。今回の募集では、提出課題が3年次演習にキヤッチアップできる水準にあるとみなした方のみ、面接に進んでいただきます。
メール shoji@kokugakuin.ac.jp	東海林孝一	○（あり）	若干名	課題A管理会計は何か、1500字から2000字にまとめなさい。課題B財務会計のゼミではなく、管理会計の東海林ゼミを選んだ理由を1000字程度にまとめなさい。	①日本商工会議所簿記検定3級以上合格者 ②全国商業高等学校協会簿記実務検定試験2級以上合格者 ③國學院大學北海道短期大学部の「会計入門」および「簿記の基礎」2科目の単位修得者は、課題A免除。なお2年前期終了時点の成績通知書および履歴書(写真、押印不要)も読みやすく写メして添付ファイルで送ってください。全員必須
郵送 【1/7（水）～1/14（水）必着】	大西祥恵	×（なし）	若干名	(1) 大西ゼミを志望される理由とゼミに入ったら取り組みたいこと(2000字以上) (2) 労働市場において不利な立場にある人々についての研究でテーマにしたいと考えていることとそれについて勉強したこと(2000字以上)	(1) 課題は、内容に加えて文章執筆のルールがきちんと守られているかどうかで評価される。 (2) ゼミでは個人で取り組む研究に加えて、ゼミ生同士での議論をどのように深め研究に活かしていくかが大切となる。しっかりした研究を行うためにはゼミの授業時間以外にも、勉強の時間を確保する必要がある。 (3) ゼミ合宿やフィールドワークなど、ゼミで行う勉強に場には必ず参加する必要がある。 (4) 上記の点について了解している場合に限って、ゼミへの応募が可能となる。
メール 【アドレス】 hosonaga@kokugakuin.ac.jp	細井長	×（なし）	若干名	以下(1)～(3)の3つのファイル(PDF形式)をメールに添付して送付。 (1)現在の所属の成績状況が分かるもの(サイトのプリントアウトでよい) (2)TOEFLまたはILETSのスコア表コピー(2025年1月以降に受けたもの、TOEFL ITP可) (3)Goto et al.(2021) <i>The Asian Economy</i> , Routledge.(ISBN:978-0-367-20371-9) 1章から12章まで、ひとつの章の内容を40分程度で報告する場合のレジュメ12章分。12章分のレジュメをひとつのPDFファイルとして作成。「報告用レジュメ」であって翻訳を意図したものではない。現2年生は1月に全12章まで終えています。	メール送付後24時間以内に届いた旨の返信がない場合は、トラブルが考えられますので、再送してください。なお、土日はメール対応をしません。

メール 【アドレス】 ogiso@kokugakuin.ac.jp	小木曾 道夫	×（なし）	若干名	バーナード・C.I.著、山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(訳1958)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社 を読んで、1.著作権者を主語として(1)協働体系、(2)組織、(3)公式組織、(4)非公式組織、個人の(5)有効性と(6)能率、組織の(7)有効性と(8)能率の概念定義を書き、2.組織の三要素、3.組織の有効性を向上させる要因について述べ、WORD文書で提出すること。	引用・参照の方法が適切かどうかを重視する。
メール 【アドレス】 chuma@kokugakuin.ac.jp	中馬 祥子	×（なし）	若干名	過去3年の「新聞の社説」の中から自分の興味あるテーマを取り上げ、合わせて1,200字以内で、その内容を簡潔にまとめ、社説に対する自分の意見を述べよ。なお、社説の記事はウェブ上から探し、そのURLを必ず記載すること。記載がない場合は、審査の対象外とする。また、選んだ社説のテーマそのものも、ゼミの内容との適合性について判断する材料となるので、注意深く選択すること。書式は自由であるが、氏名と学科を明記の上、A4一枚に収まるようにページ設定をすること。	3年中馬ゼミ(演習II)では、2年次のゼミで統計データの分析の仕方や論文の読み方・書き方などについて、基礎的な学びを終えたゼミ生と合流することになります。ですので、すでにそうした学びを進めてきた方の応募を期待します。
メール 【アドレス】 yoshino@kokugakuin.ac.jp	吉野 真治	○（あり）	若干名	以下の(1)～(2)の課題を作成し、メール添付で送ってください(wordファイル、書式自由、いずれも1,000字以上、参考文献リストを示すこと)。 (1) あなたが財務会計を学ぶ目的を説明しなさい。 (2) 国際財務報告基準(IFRS)について、その特徴(ルールの作り方や歴史、日本の会計基準との主要な差異等)を明らかにし、日本および諸外国における適用状況を説明しなさい。	財務会計を真剣に学びたいと考えている学生を受け入れたいと考えています。また、公認会計士や税理士等の会計専門職を志望している学生も歓迎します。選考は、課題および面接の評価で行います。いずれも現時点における会計の知識の有無だけではなく、時間をかけてリサーチする能力や、ルールに書かれていない問題に対する思考力、応用力等に基づき評価します。
taka8664@kokugakuin.ac.jp	高橋克秀	×（なし）	若干名	『統計分布を知れば世界がわかる』(中公新書、松下貢)を読み、もっとも興味をもった章を深く掘り下げてレポートにする。2000文字以上、上限なし。章の内容を正確に理解することは当然であるが、さらにデータを収集し、グラフや図表をつけてください。自分で仮説を設定し、検証できれば高評価。	現在在籍しているゼミ生は今学期中に統計学の教科書を読み終えています。編入を希望する人は、春休みに独学で追いつくことが求められます。
メール 【アドレス】 kiriuminashita@kokugakuin.ac.jp	水無田気流	○（あり）	若干名	(1) 自己紹介(400字程度) (2) 本ゼミを希望する理由(800字程度) (3) 教員任意課題:課題図書ジュリエット・ショア『浪費するアメリカ人』(岩波現代文庫)を読み、①内容の要約(1000字程度)、②著者の指摘する現代消費社会の課題について考察し、あなたの考えを述べてください。(2000字以上、上限は問わない)。 (4)演習Ⅱにて提出を要請するゼミ論文の研究計画書(「タイトル」「目的」「1200字程度」「概要」「2000字程度」「主要参考文献」を記述すること)。 ※すべてword形式ないしはPDF形式とすること。他の形式は受け取らないので注意すること。	※本年度は既に演習受講生多数につき、募集はきわめて若干名となる。
郵送 【1/7(水)～1/14(水) 必着】	尾崎麻弥子	×（なし）	若干名	1. 最近関心を持った事柄に関する新書(岩波新書、中公新書etc)を1冊読み、その内容の要約(1000字程度)と感想(1000字程度)を書いたレポートを提出。(ワード形式、書式自由。レポートの形式がわかっているかについても評価しますので事前に一般的な参考文献の書き方などについて調べておくこと。使用した本の著者、書名、出版社名は必ず書くこと) 2. 簡単な自己紹介。1000字～2000字。同じくワード形式、書式自由。	本ゼミでは3年次中にある程度卒論の内容を固めて下書きを作成します。そのため2年のゼミから各自がテーマをもって演習をおこなっています。自分のテーマをしっかりと持っている学生の積極的な参加を期待します。また、メール送付の際にはタイトルに「演習II応募書類」と記入し、課題に必ず氏名を記入してください。

メール 【アドレス】 ytahara@kokugakuin.ac.jp	田原裕子	○（あり）	若干名	「渋谷区みどりの実態調査 報告書(令和5年3月)」 「渋谷区みどりの実態調査」 「渋谷区みどりの基本計画(令和6年4月)」をすべて読み、要点をまとめなさい。それぞれ1000字程度。なお、一部でもAIの使用が認められた場合は不合格とする。	ゼミは3学年合同なので、自分の学年の授業の他に毎週2コマの出席が必須です。また、授業以外にも夏休みや春休みにゼミ合宿や地域連携活動で年間で10～15日程度(土日もあり)参加してもらいます。これらのすべてに参加できることが前提です。また、やみくもにがんばるだけでなく、論理的に考えて調査研究や行動できる人が望ましいです。
郵送 【1/7（水）～1/14（水） 必着】	尾近裕幸	○（あり）	若干名	神取道宏『ミクロ経済学の力』（日本評論社、2014年）の「第1章消費者行動の理論」の第1.4節までを読み、「消費者の最適消費計画」について説明するレポートを作成する。A4横書き、字数は不問。 面接では上記レポート内容に関する質問をして、消費者行動の理論の理解度を確認します。	
メール 【アドレス】 takagi@kokugakuin.ac.jp	高木康順	×（なし）	5名程度	次のA、B両方をWord A4 1枚程度にまとめてメールに添付して提出すること。 A 志望動機 B 「日本の経済」「経済経営数学入門」「統計入門」「経済理論入門」すべてについて、科目ごとに以下の3点を簡潔にまとめなさい。 成績が「D」もしくは「R」の科目があるものは当演習の募集対象外。 1. 成績 2. 面白かった点 3. 難しかった点	2年生後期では理論の入門テキストで記述的に説明される際に用いられている図表を、使われている単純な理論に基づく数学モデルを用いてExcel上で再現して、基本的な理論モデルの数式処理に慣れてきています。 3年の演習Ⅱではマクロ経済理論に基づき現実の日本経済を統計データで分析していきます。 数学やパソコンを得意とする人はもちろん歓迎ですが、4科目を履修できている人ならゼミで十分対応できるようになります。
メール 【アドレス】 hamada@kokugakuin.ac.jp	濱田 高彰	○（あり）	若干名	以下の①～⑥を1つのPDFファイルにまとめた上で、メール添付にて提出してください。 ① 簡単な自己紹介…200字程度 ② これまでの大学生活で力を入れてきたこと…400字程度 ③ これまでで最も興味深かった大学の授業…400字程度 ④ ゲーム理論を用いて分析してみたい身近な現象または社会現象についてまとめてください。ただし、その現象がゲーム理論の分析対象であると考えられる理由についても説明してください。…700字程度 ⑤ 行動経済学に関連するトピックを1つ選択し、オリジナルの経済実験(アンケート調査)を作成してください。ただし、実験結果の予想及び結果から得られる社会的意義についてもまとめてください。…1000字程度 ⑥ 最新の成績表(PDFまたはJPEGなどの画像データ)	面接は、書類選考の通過者のみ実施します。選考においては、当ゼミのトピックである「ゲーム理論」「行動経済学」の基礎知識や、これらの分野への関心・研究意欲を特に重視します。また、ゼミはグループワークを中心に進めますので、グループ活動に意欲的に参加していただける方が望ましいです。

<p>メール 【アドレス】 nakata_yusuke@kokugakuin.ac.jp</p>	<p>中田有祐</p>	<p>○（あり）</p>	<p>若干名</p>	<p>特定の業界の大手企業数社について財務諸表分析と経営分析を行うこと。その際、以下の点に注意すること。 ①Wordで作成し、文字数はA4版で8枚以上（図表、参考文献含） ②各企業の沿革・経営戦略に触れること ③業界全体の環境に関する分析も含めること（例：5フォース分析） ④連結財務諸表の数値で指標を算出すること ⑤セグメント情報も活用すること ⑥ROE等の指標について、算出結果をグラフで示すこと ⑦指標の算出のみに留まらず、各社の置かれた事業環境や経営戦略と絡めて、各社の経営に対する示唆も述べること</p>	<p>（人物像）財務会計を学ぶ意欲が高いことが第一です。また、複数学年合同・連コマでゼミを実施しており、発表準備も含めるとかなりの時間的拘束となりますので、それが苦にならないことも条件です。 （選考基準）経済学部では2年生後期からゼミが始まっています。そのため、ゼミの2年生が実際に取り組んだ課題と同等の内容を出し、課題の出来から「4月からのゼミの内容について来られるか」を判断します。</p>
<p>メール 【アドレス】 yuki.horie12@gmail.com</p>	<p>堀江 優希</p>	<p>○（あり）</p>	<p>若干名</p>	<p>ゼミナールの志望理由書を、私のメールアドレス宛（yuki.horie12@gmail.com）にお送りください。志望理由書には、①氏名、②本ゼミナールを志望する理由（本ゼミナールで身につけたいことなど）を記入してください。様式は指定しませんが、A4で1枚程度（1,000字以内が目安）のものをwordで作成し、PDF化してご提出ください。</p>	<p>会計・経営戦略・ファイナンスに関する知識の有無は問いませんが、何事にも積極的に取り組む意欲ある学生さんを歓迎します。ゼミナールの選考は、事前に提出いただくゼミの志望理由書と、オンラインでの面接により判断します。</p>